

第77回 秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会  
第71回 秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会

## ミキプルーンスーパーカレッジバレー2024 開催要項

主 催 公益財団法人日本バレーボール協会  
一般財団法人全日本大学バレーボール連盟  
朝 日 新 聞 社  
日 刊 ス ポ ー ツ 新 聞 社  
株 式 会 社 ジ ェ イ ・ ス ポ ー ツ  
共 催 一般社団法人大学スポーツ協会  
特別協賛 三 基 商 事 株 式 会 社  
後 援 ス ポ ー ツ 庁 (予定)  
公益財団法人東京都体育協会 (予定)  
公益財団法人東京都バレーボール協会 (予定)  
一般財団法人神奈川県バレーボール協会 (予定)  
千葉県バレーボール協会 (予定)  
主 管 大 会 実 行 委 員 会

### I. 大会日程

#### 1. 大会期間

2024年11月25日(月)～12月1日(日)

#### 2. 開会・閉会式

開会式 11月25日(月) 東京体育館

閉会式 12月 1日(日) 船橋アリーナ

#### 3. レフリークリニック・代表者会議

(1) 代表者会議 11月25日(月) 16:00～

(2) 緊急時対応マニュアルについて 11月25日(月) 代表者会議終了後(予定)

#### 4. 大会会場

11月26日(火)

東京体育館

川崎市とどろきアリーナ

エスフォルタ八王子

立川市泉市民体育館

上尾市民体育館

11月27日(水)

東京体育館

川崎市とどろきアリーナ

エスフォルタ八王子

11月28日(木)

東京体育館

エスフォルタ八王子

11月29日(金) 30日(土) 12月1日(日)

船橋アリーナ

## 5. 表彰

優勝、準優勝表彰は男子決勝戦後、第3位表彰は3位決定戦後に行うこととする。

## 6. 記念品

優勝チーム	男子：秩父宮賜杯、女子：秩父宮妃賜杯 ミキプルーンスーパーカレッジカップ、賞状、ミキプルーン ミズノ記念Tシャツ (公財)日本バレーボール協会杯 (一財)全日本大学バレーボール連盟杯、芳名録、ウイニングボール (公財)日本バレーボール協会杯個人盾 (一財)全日本大学バレーボール連盟メダル
準優勝チーム	(一財)全日本大学バレーボール連盟賞状、準優勝盾、記念ボール、個人メダル ミキプルーン
第3位チーム	(一財)全日本大学バレーボール連盟賞状、記念ボール、個人メダル ミキプルーン
個人賞	(公財)日本バレーボール協会 優秀監督賞 朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社 最優秀選手賞、敢闘選手賞、ベストスコアラー賞、スパイク賞、ブロック賞、サーブ賞、セッター賞、レシーブ賞、リベロ賞 ジェイ・スポーツ MIP賞

## 7. コロナウイルス感染症への対策

- (1) 新型コロナウイルス感染症への対策について  
全日本大学バレーボール連盟「ミキプルーンスーパーカレッジバレー2024大会運営ガイドライン」を遵守すること。
- (2) 大会期間中、新型コロナウイルス感染者や体調不良者が確認された場合、「ミキプルーンスーパーカレッジバレー2024大会運営ガイドライン」に則って対応すること。
- (3) 大会期間中に流行性疾患への感染者または体調不良者がチーム内に2名以上でた場合は学連に速やかに報告すること。  
○ 感染症対策窓口 : health@juvf.jp  
○ 感染症対策電話番号 : 080-4670-8995

## II. 大会参加資格

### 1. チーム参加資格

ミキプルーンスーパーカレッジ2024に参加できるのは、地区学連の割り当てられた数とする。  
なお下記の条件を満たしていること。

- (1) 2024年度公益財団法人日本バレーボール協会登録規定により大学として登録されその在籍学生で構成されたチームであること。
- (2) 2024年度全日本大学バレーボール連盟加盟校であること。
- (3) JVA個人登録(MRS)の登録者であること。

### 2. 学連割り当て数

男子(計64チーム)		女子(計64チーム)	
	学連割り当て数		学連割り当て数
北海道学連	4チーム	北海道学連	3チーム
東北学連	4チーム	東北学連	3チーム
北信越学連	3チーム	北信越学連	3チーム
関東学連	21チーム	関東学連	20チーム
東海学連	8チーム	東海学連	6チーム
関西学連	11チーム	関西学連	16チーム
中国学連	6チーム	中国学連	4チーム
四国学連	2チーム	四国学連	2チーム
九州学連	5チーム	九州学連	7チーム

### Ⅲ. 競技、審判注意事項

#### 1. 競技規則

2024年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。

- ① スタッフ、選手の試合途中参加はその都度できる。
- ② スタッフ、選手が途中参加の場合は事前に、審判、学連委員に申し出ること。
  - a. 監督の場合は、ゲームキャプテンは監督が来たことをラリー間に伝える。審判が確認した時点で権利を行使することができる。監督はセット間もしくは、試合終了後に記録用紙にサインする。
  - b. プレーヤーの試合途中参加は、その都度できる。遅れる場合は事前に、審判及び学連委員に申し出ること。

#### 2. 競技方法

全試合5セットマッチとする。

#### 3. 試合使用球

- (1) 今大会は、男子はミカサ製カラーボール（V300W）、女子はモルテン製カラーボール（V5M5000）を使用する。
- (2) 全試合原則5ボールシステムで試合を行う。

#### 4. 競技日程

第1日	11月26日（火）	トーナメント1回戦
第2日	11月27日（水）	トーナメント2回戦
第3日	11月28日（木）	トーナメント3回戦
第4日	11月29日（金）	準々決勝
第5日	11月30日（土）	準決勝
第6日	12月1日（日）	3位決定戦、決勝

#### 5. 選手、スタッフ登録

- (1) (公財)日本バレーボール協会、及び(一財)全日本大学バレーボール連盟に有効に登録されたチームで、本大会にエントリーされていること。
- (2) 選手のエントリーは18名以内とする。
- (3) 1チームのスタッフは部長1名(必須)、監督1名、コーチ1名、トレーナー1名、マネージャー1名とする。  
※部長は(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録された者、マネージャーは当該大学の学生であること。エントリー申込受付後はエントリーの変更は認めないので注意すること。
- (4) 正規の競技者とリベロプレーヤー(以後リベロとする)の人数割りについて、13名以上選手登録するときは2名のリベロを登録しなければならない。
- (5) 当日のエントリーは19名(選手14名+ベンチスタッフ5名)とする。

#### 6. 各種資格

- (1) 部長を除くスタッフ全員について、チーム内に指導者有資格者(コーチ1、コーチ2、コーチ3、コーチ4)がない場合ベンチに入ることは認められない。
- (2) トレーナーとしてベンチに入る場合は、医師、看護師、及び医療免許資格を有する者とする。但し当分の間、科学研究委員会が定めた、日本赤十字社、各消防署等講習会に参加し認定書を交付された者を認めることとする。  
講習会の延期、中止等によりエントリー届締切日に証明書の発行が間に合わない場合は、大会初戦当日、本部席にトレーナー資格証明書(資格証明書のコピーを付けたもの)を提出すること。
- (3) トレーナーとしてベンチに入る者は、(一財)全日本大学バレーボール連盟が発行した資格取得証明書を試合中提示すること。

#### 7. 競技者選手、スタッフメンバー提出

- (1) 試合当日のコンポジションシートの提出について
  - ① 第1試合は、試合開始の30分前までに、大会本部へ提出すること。

- ② 第2試合以降は、フロア開放後から試合開始30分前までに大会本部へ提出すること。
  - ③ コンポジションシート提出後の変更は認めない。
  - ④ 部長以外（監督、コーチ、トレーナー、マネージャー）のスタッフを変更する場合
    - a. 臨時役員変更届を学連担当者に提出すること。
    - b. スタッフの追加登録を定められた期限までに完了している場合に限り認める。
- (2) 各セット開始前に提出されたラインアップ・シートの変更は、セカンドレフェリーがスコアラーに手渡した後は認めない。

## 8. 試合開始時刻

- (1) 公式練習時間について、試合設定時刻の15分前にプロトコールを開始する。但し、最終日のみ変更をする可能性がある。  
※前試合終了が設定時刻より遅れた場合は学連より開始時刻を伝達する。
- (2) 大会期間中、フロアでのアップを行うのは試合前のチームのみとする。
- (3) チームが正当な理由なしに定められた時間までに競技場に現れない場合は、不戦敗を宣告される。
- (4) 11月26日から11月30日までは以下の設定時間で行う。なお、試合進行が遅れている場合は設定時間を繰り下げるが、試合が早く終了した場合に時間を繰り上げることはしないこととする。

### 11月26日（火）

東京体育館、エスフォルタ八王子、上尾市民体育館

	フロア開放時刻	試合開始時刻
第1試合	8:45	9:30
第2試合	10:45	11:30
第3試合	12:45	13:30
第4試合	14:45	15:30

### 11月26日（火）

とどろきアリーナ、立川泉市民体育館

	フロア開放時刻	試合開始時刻
第1試合	9:15	10:00
第2試合	11:15	12:00
第3試合	13:15	14:00
第4試合	15:15	16:00

※各体育館の借用状況の影響により、26日の設定時間は会場毎に異なる。

### 11月27日（水）

	フロア開放時刻	試合開始時刻
第1試合	9:15	10:00
第2試合	11:15	12:00
第3試合	13:15	14:00
第4試合	15:15	16:00

### 11月28日（木）

	フロア開放時刻	試合開始時刻
第1試合	9:15	10:00
第2試合	11:15	12:00
第3試合	13:15	14:00

### 11月29日（金）

	フロア開放時刻	試合開始時刻
第1試合	9:15	10:00
第2試合	11:15	12:00
第3試合	13:15	14:00

## 11月30日(土)

第1試合 10:15 11:00

第2試合 12:30 13:00

※第2試合は、サブアリーナにてボールを使ったアップを行うことを可能とする。

- (5) 12月1日は以下の時間設定で行う。

フロア開放時刻 試合開始時刻

第1試合 8:45 9:30

第2試合以降は追い込み方式。

※前試合終了後、ネットの張り替え及びコート表彰等が終了し、フロアの使用を学連が認めた時刻より30分後に試合開始とする。

※第2試合以降は、サブアリーナにてボールを使ったアップを行うことを可能とする。

## 9. 公式練習及び試合時のベンチ

- (1) 公式練習の時間は、全試合1チーム5分ずつとする。合同の場合10分間とする。
- (2) 公式練習には、スタッフとして認められた部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーと競技者14名のみが参加することができる。モッパ―2名については、ボールキーパーとしての参加のみを認める。但し、ユニフォーム、スタッフウェア以外の統一された服装で参加すること。
- (3) 公式練習前のウォーミングアップのネット及びボールの使用を認める。但し、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパー(最大3名)を配置すること。
- (4) 公式練習中は、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパー(モッパ―を含め、最大3名)を配置すること。ただしボールキーパーは、他のコートへのボールの侵入を防ぐ目的で配置するものであり、ボール拾い等を含め、公式練習に参加することは一切してはならない。
- (5) ボールカゴ及び部旗は公式練習後に競技エリア外へ出すこと。  
※当該コートのフリーゾーンの端に置くこと。  
※部旗は床に倒して置くこと。
- (6) ベンチには飲料水、救急用具等の最低限の必需品以外を持ち込まないこと。

## 10. ユニフォーム

- (1) 本大会のユニフォーム等の広告(一財)全日本大学バレーボール連盟ユニフォーム規定によって規制されると共に、(公財)日本バレーボール協会公認企業以外のロゴの露出を禁止される。  
※試合中の競技用品(ユニフォーム、サポーター、ベンチスタッフウェア、シューズ)は公認企業となる。
- (2) ソックスについては長さとし、刺繍(ロゴマーク等)のワンポイントまで認める。但し、公認企業以外のメーカーのロゴ等が露出するソックスを着用する場合、安全に十分に配慮してマスキングを施すこと。尚、くるぶしの見えるような短いソックスを履いてのゲーム参加は認めない。
- (3) チームキャプテンは長さ8cm、幅2cmのユニフォームと異なった色のキャプテンマークを腹部の番号の下に明瞭に付けること。
- (4) リベロの着用するユニフォームは、チームの他の競技者と明確に識別できる対照的な色であること。リベロと他の競技者のユニフォームの色が紛らわしい場合は、リベロ・ビブスを着用させることもある。
- (5) リベロと他の競技者のユニフォームの色が共に2色以上を用いる場合、それぞれが同色を用いないように注意すること。
- (6) 本大会の使用企業名は下記の通りである。  
どの企業の製品か十分注意すること。公認企業以外のロゴは、安全に十分注意して隠しマスキングをして使用することができる。
  - ① ユニフォーム公認企業  
アシックス、デサント、ミズノ、ファイテン、アンダーアーマー、トンボ、フラスコ、アルスト、スクアドラ、トレス、ムンター、スポルディング、チャンピオン、ヒュンメル、キュバル
  - ② サポーター公認企業  
アシックス、デサント、ミズノ、D&M、ザムスト、ファイテン、アルペン、マクダビッド
  - ③ シューズ公認企業

### 1 1. リベロ・プレーヤーの取扱いについて

- (1) リベロが負傷や病気、退場、失格等によりプレーの続行ができなくなった時は、監督または監督が不在の場合はゲームキャプテンが、いかなる理由であってもプレーできなくなったことを宣言することができる。  
リベロがプレーできなくなったと宣言されたときには監督または監督不在の場合はゲームキャプテンが、ファーストレフェリーの許可を得てベンチ入りしているプレーヤーをリベロとして再指名することができる。  
※リベロと交代してベンチに戻っている競技者を除いて、ベンチにいる競技者であればだれでも良い。
- (2) リベロに再指名されたプレーヤーは、その試合終了までリベロとしての登録となり、もとのプレーヤーには戻れない。
- (3) 2人のリベロが記録用紙に記入されているチームは、そのうち1人がプレーできなくなっても、リベロ1人で試合をすることができる。  
再指名は認められないが、もう1人のリベロも試合でプレーの続行ができなくなった場合は、他の選手を試合終了までリベロとして再指名することができる。
- (4) 再指名されたリベロが、プレーできなくなった場合は、さらにリベロを再指名することができる。
- (5) 監督がセカンドレフェリーに、口頭で「リベロの再指名」を要求する（ハンド・シグナルは示さない）。そのとき、リベロと再指名される競技者は、リベロ・リプレースメント・ゾーンに、ナンバーパドルを使用する場合は、ナンバーパドルを持って準備して立っていなければならない。  
※再指名された競技者はビブスを着用するか、リベロと同じユニフォームを着る。  
しかしユニフォーム番号は登録者自身の登録番号と同じものを着用する。
  - ① リベロがコート上にいる時でも、再指名をすることができる。セット間にリベロの再指名をしたい時、監督はリベロを再指名することをセカンドレフェリーに伝える。
  - ② リベロとして再指名された選手は、その試合を通してリベロとして試合に出場し、プレーすることができる。再指名されたプレーヤーは、その試合終了後までもとのプレーヤーに戻ることはできない。正規にチームに登録されていたリベロはその試合終了までプレーヤーとしては戻れない。

### 1 2. ワイピング行為について

- (1) モップパーは当該チームから2名まで配置することができる。服装は選手と異なる統一された物であること。また、迅速に行うこと。
- (2) モップパーがいない時は、試合前にチームキャプテンがレフェリーにその旨を伝えることで、控えの選手が行うことができる。
- (3) 試合開始前、タイム・アウト及びセット間におけるワイピングは実施しない。必要ならば、モップパーがタオルを持ちコート内を確認すること。
- (4) モップパーが応援及びチームのマネジメント行為（ドリンク、アイシング作り等）をすることは一切禁止とする。それらの行為はチームに対しての警告となる。
- (5) モップパーの手袋の着用は不要とする。

### 1 3. 競技全般の不法行為の取扱い

- (1) 2024年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- (2) （一財）全日本大学バレーボール連盟及び（公財）日本バレーボール協会に登録されていない選手、スタッフが試合に出場したときは以下の様に取り扱う。
  - ① 試合中に発覚した場合 →6人制競技規則7、3、5、4に従って処分する。
  - ② 試合終了後に発覚した場合→没収試合とする。
- (3) 競技違反については、処分基準詳細に従い、規律委員会で協議し決定する。

### 1 4. 試合前の待機中のチーム

試合終了後の挨拶が終了し、学連委員の指示があるまでアリーナ外で待機すること。

### 1 5. チームスタッフ

- (1) チームスタッフは、当該大学生以外の場合は、（一財）全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長以外の全ての役職を行うことができる。但し、マネージャーは当該大学生のみとする。

- (2) 部長は当該大学の教職員でなければならない。また、同一大学の男女両チームが参加する場合は兼任することができる。  
※部長以外のスタッフは、男女兼任のスタッフ登録、ベンチ登録を不可とする。
- (3) 部長は、男女どちらかのチームの監督を兼務することができる。
- (4) 当該大学の学生で、(公財)日本バレーボール協会、(一財)全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長以外の役職を行うことができる。
- (5) 部長、監督は原則として季節に応じた正装(ジャケット必須)とする。  
但し、ネクタイ不要とする。コーチ、トレーナー、マネージャーの服装については、原則として統一された服装のものを着用すること。短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されないが、気温が高く熱中症等が懸念される場合は実行委員会の判断により緩和することができる。
- (6) 部長、監督がトレーニングウェアを着用する場合は、スタッフ全員が統一されたものを着用すること。ランニングシャツ等は不可とする。
- (7) 試合中の中断の要求が出来るのは監督とゲームキャプテンだけである。
- (8) 監督が試合中に妨害あるいは遅延を行わない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。
- (9) 試合中、相手チームに対して、選手を牽制するような言動は認められない。相手チーム選手の番号や名前を特定する行為は制裁の対象となる。
- (10) 部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーは役員章を付けなければベンチに入ることができない。
- (11) 試合中はトレーナー認定確認書を大会本部で受理して身に着けること。

#### 16. 応援について

マスクの着用は任意とし、発声を伴う応援を認める。

#### 17. 学生補助役員について

- (1) 学生補助役員は14名(スコアラー2名、ラインジャッジ4名、点字2名、ボールリトリバー6名)で行う。  
※会場によって配置人数が異なる場合もある。
- (2) プロトコール開始10分前までにスコアラーズテーブルに集合すること。
- (3) 学生補助役員は以下のように行う。
  - ① 補助役員が不足している場合は、リトリバー、点字から同会場で同時刻に試合を行っている他コートチームで役割を分担させる。
  - ② チームで統一された服装(ユニフォーム可)で行い、任務を遂行すること。
- (4) ラインジャッジはレフェリーの一員として正確なジャッジをすること。
- (5) 点字員は試合を観戦することなく正確な得点表示をすること。
- (6) ボールリトリバーは、ラリー中は中腰姿勢を維持すること。座り込んだり、注意散漫になったりしないこと。ボールをサーバーに渡すとき以外は投げずに、迅速に床に転がし試合の運営をすること。サーバーにボールを渡すリトリバーはインプレー中ボールを保持すること。

#### 18. 棄権の取扱いについて

- (1) 規律委員会は競技違反、規則・規定違反があった場合はただちに委員会を開催し処分基準に従って処分を決定する。
- (2) 2024年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則、2024全日本インカレ開催要項、競技上の注意事項違反、応援者の悪質な行為、各施設の利用規則違反及び学生としてのマナー欠如等に対して、競技違反等に関する規律委員会において、処罰の対象となるので十分注意すること。
- (3) 棄権校が出た場合11月18日(月)まで書く地区学連での補填期間とし、それ以降は不戦敗とする。

#### IV. 会場使用上の注意

各会場マニュアルを熟読しておくこと。

- (1) 横断幕等を貼る際には各会場の注意事項に従うこと。
- (2) フロアでの撮影は禁止とする。フラッシュ撮影はプレーの妨げとなるため禁止とする。  
企業席、報道席を設ける為、企業関係者、報道関係者は該当する場所で観覧すること。

- (3) 各会場の電源使用は、会場ごとに異なるため、注意事項を確認すること。  
無断で電源使用をしているチームが発覚した場合、メディアごと本部にて回収する。  
チームデータのためのビデオの充電は全会場学連委員に申し出ること。
- (4) 本大会で施設を利用する際、施設内は禁煙。喫煙については各施設の利用規則を遵守すること。
- (5) 貴重品等の盗難に関して、当連盟では一切の責任を負わないものとする。  
各チームともに荷物の管理は徹底すること。  
※忘れ物、紛失物に関しては、各会場受付にて預かるものとする。(大会期間中のみ) 各会場受付まで連絡すること。貴重品以外の忘れ物、紛失物は大会終了時に処分する。
- (6) 勝ち上がったチームの荷物の置き場は、各会場にて学連委員に確認すること。翌日の試合のために荷物を置いて帰る場合は、学連委員の指示に従い、他のチームのことも考慮して、最小限のスペースに留まるように協力し、消毒して帰ること。チームの勝手な判断による荷物の放置は、他の目的での施設利用者の迷惑となるため、一切禁止とする。また、チームの荷物の紛失に関しても連盟は一切の責任を負わないこととする。
- (7) 会場で出たごみは各自(各チーム)責任をもって持ち帰ること。会場や駅など会場周辺のごみ箱は使用しないこと。特に弁当やごみの回収に関しては、各チームで責任をもって持ち帰ること。  
また、鼻水、唾液などが付いたごみや使用済みのテーピングなどはビニール袋に入れ密閉して縛り、回収する人はマスクや手袋を着用すること。作業後は必ず石鹸と流水で手を洗い、手指を消毒すること。

## V. その他

- (1) 試合当日災害が発生した場合は、学連担当者及び会場運営管理担当者の注意事項(誘導)に従って適切な行動を行うこと。
- (2) 本大会前にエントリー選手は健康診断を受けること。選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め、十分留意すること。
- (3) 大会の期間中に選手が負傷した場合は、第一義的にはトレーナーが行うこと。  
応急手当補助は行うが、あくまでも医師等に見せるまでの応急手当である。  
以後の責任は負わないこととする。
- (4) 練習会場は用意しない。
- (5) 宿泊、弁当については、各チームで手配すること。
- (6) チームで手配した弁当やごみの回収に関しては、各チームで責任をもって受け渡しを行うこと。会場にごみを放置したまま帰る等の行為は禁止とする。

## VI. 大会申込について

### 1. 大会申込方法

大会申込方法については、別資料「申込要領について」を掲載するため、そちらを参照すること。

### 2. 抽選会

日時：11月3日(日) 時間は未定  
抽選会は全日本学連委員で行う。  
各学連の代表者による抽選を行う。  
抽選の様子はYouTubeでライブ配信する。  
抽選会の結果は速やかに全日本学連のホームページに掲載する。

## VII. 本大会に関する問い合わせ先

一般財団法人全日本大学バレーボール連盟  
〒101-0035  
東京都千代田区神田紺屋町46 風月堂ビル405号室  
TEL: 03-5244-4804  
FAX: 03-5244-4805  
E-mail: [info@juvf.jp](mailto:info@juvf.jp)